

シナハウノキ



シナハウノキ(東京理科大学薬用植物園 2021/5/20)



花と葉(東京理科大学薬用植物園
写真提供 by NH 2017.5.10 撮影)



唐厚朴(生薬標本室 2021/5/26)

学名 : *Magnolia officinalis* Rehd. et Wilson (モクレン科モクレン属)

薬用部位 : 樹皮

生薬和名 : コウボク(厚朴)

主な薬効 : 鎮痛、鎮痙

主な漢方 : 半夏厚朴湯、柴朴湯、大承気湯等

主要成分 : フェノール類 マグノロール、ホオノキオール

精油 β -オイデスマール

アルカロイド マグノクラリン、マグノフロリン

特徴 : 中国原産である。日本産のハウノキと近縁。落葉高木で葉は互生し単葉で全縁、幅広の長楕円形。5~6月に芳香を放つ白く大きな花を咲かす。厚朴は弱いにおいがあり、味は苦い。



参考 : ホオノキ 薬学部東門 2021.6.3 撮影

ハウノキとシナハウノキについて

中国では厚朴をシナハウノキのことを指し、日本ではハウノキ(*Magnolia obovata* Thunberg)を和厚朴、シナハウノキを唐厚朴と区別する。ハウノキとシナハウノキで特徴的な違いはほとんど見られないとされている。

日本薬局方では、一つの厚朴としてハウノキ(*M. obovata* Thunberg)、シナハウノキ(*M. officinalis* Rehd. et Wilson)どちらの樹皮も用いるとされている。

参考文献

- ・日本薬局方 医薬品各条生薬等 <https://www.pmda.go.jp/files/000210790.pdf>
- ・生薬単 改訂第2版 原島広至 NTS
- ・薬用植物学 改訂第7版 南江堂
- ・薬用植物 第4版 廣川書店